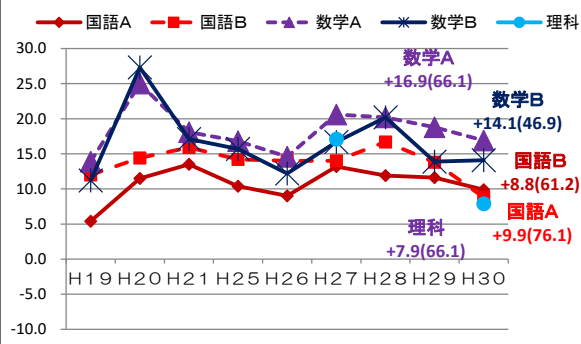


平成30年度全国学力・学習状況調査結果（県立中村中学校）

教科調査の結果

全国平均正答率との差（ ）内はH30全国正答率



※ H22～H24は悉皆調査ではないので省略。理科はH27と30の調査です。

教科調査の詳細

国語

A問題は全問正解はいなかったが、B問題は全問正解が6人、1問のみ間違えている生徒が10人、併せて16人で昨年の44人から大きく減少している。

- A問題では、一部の語句選択以外は非常に正答率が高い。
- B問題では、文章の内容を捉える設問についての正答率が高いが、適切な言い方に直したり、考えを書くものについて

数学

全問正解の生徒がA問題は3人、B問題は1人いる。

- A問題では、文字式や図形に関する設問で正答率が低いものが見られる。
- B問題では、比例関係の設問や、数学的な説明などが必要な設問の正答率が低い傾向にあり、数年間、同じ傾向

分析と今後の取組

- 自分によいところがあると考える生徒は大幅に増加している。
- 読書好きの生徒の割合は増加している。
- 基礎的な学力については、身に付いている生徒が多いものの、県や全国との差は減少してきている。
- 将来の夢や目標を持っている生徒は大幅に増加している。
- スマホなどにかかる時間は減少傾向にある。
- △ 計画的に勉強している生徒の割合が、昨年に比べ6.4ポイントと大幅に減少している。全体的に家庭学習時間が減少しており、学力が伸びていないことを裏付けている。
- △ 自分の考えをまとめ、発表・説明する力がまだ十分で

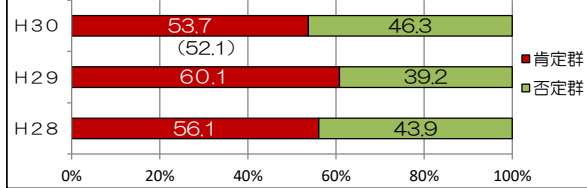


- ◎ 併設高校の学習にうまくつながるよう、反復練習、家庭学習を通して基礎学力の定着をはかる。
- ◎ 全体的な学力は昨年度と比較して下降している。調べ、まとめ、発表する場を増やし、自分で問題を解決する力を身に付けられる学習活動を充実する。また、体験的な活動や、中学生が主体になって運営する行事の充実により、連帯や奉仕の心と、道徳観や責任感を身に付けられる活動を進め、集団の中での自分の役割と居場所を確認し、自信をもって学習、活動ができるようにしていきたい。
- ◎ 一部、高等学校の学習内容を先取りし、生徒の知的好奇心を刺激し、興味や関心を高められる学習に取り組む。

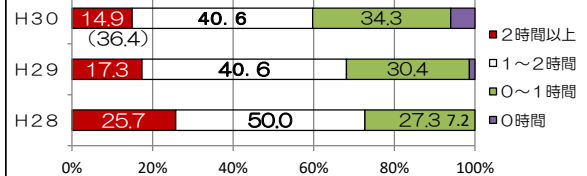
質問紙調査の結果

( ) 内は全国の結果

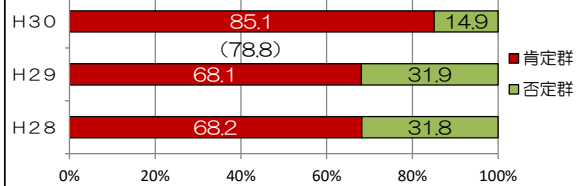
自分で計画を立てて勉強しているか



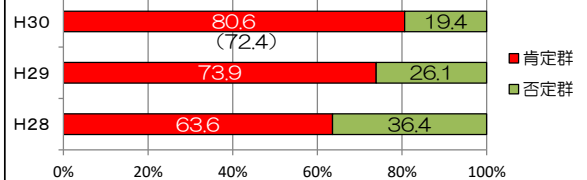
学校の学習時間以外に、1日あたりどのくらい勉強するか（平日）



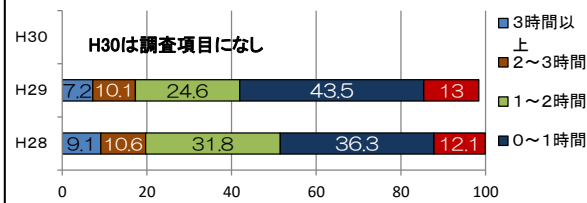
自分にはよいところがあると思うか



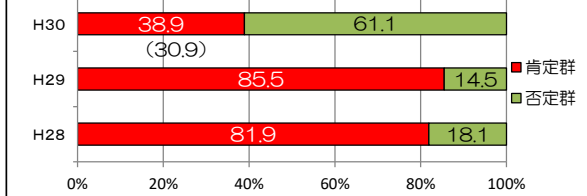
将来の夢や目標を持っているか



平日、スマホなどでメール、インターネットをどのくらいしているか



読書は好きか（H30は、30分以上読書をしているか）



地域の行事に参加しているか

